

兵庫県立神崎工業高等学校 令和2年度 学校評価 (教職員自己評価)

評価基準 ◎ (よくできた) 5 / ○ (できた) 4 / △ (あまりできなかった) 2 / × (できなかった) 1

《 ランク A 5.00 ~ 4.00 / B 3.99 ~ 3.00 / C 2.99 ~ 2.50 / D 2.49 ~ 2.00 / E 1.99 ~ 1.00 》

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク
					◎	○	△	×	無回答		
学 校 運 営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	「学級通信」・「学校だより」を発行するとともに「ホームページ」や「学校安心メール」を通じて、保護者に可能な限り情報を発信する。	28	11	14	7	2	0	3.7	B
				29	11	14	7	2	0	3.7	B
				30	13	20	3	1	0	4.1	A
				元	9	19	7	1	0	3.8	B
				2	11	21	4	0	0	4.1	A
		28	11	21	3	0	0	4.1	A		
		29	9	20	5	0	0	4.0	B		
		30	16	19	1	1	0	4.3	A		
		元	12	20	3	1	0	4.1	A		
	2	8	18	8	0	2	3.8	B			
	28	21	13	1	0	0	4.5	A			
	29	11	19	4	0	0	4.1	A			
	30	19	15	2	1	0	4.3	A			
	元	15	18	3	0	0	4.3	A			
	2	16	14	3	1	2	4.2	A			
	生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	年度当初に生徒指導方針を生徒・職員に明確に説明し、定期的にその方針の達成状況を確認する。	28	15	14	3	3	0	4.0	A
				29	15	16	2	1	0	4.2	A
				30	10	25	2	0	0	4.2	A
元				13	19	2	1	1	4.2	A	
2		13	21	2	0	0	4.3	A			
生徒の内面理解を図る指導の工夫		各学期に個人面談を実施すると共に、家庭とも密接な連絡をとる。	28	17	16	2	0	0	4.4	A	
			29	16	16	2	0	0	4.4	A	
			30	8	20	7	2	0	3.7	B	
			元	16	16	4	0	0	4.2	A	
2		12	20	2	2	0	4.1	A			
生徒の自主自律の精神を育む指導の工夫		生徒会行事の活性を図り、生徒の自律意識を高める。	28	14	17	4	0	0	4.2	A	
			29	10	21	3	0	0	4.1	A	
	30		15	16	6	0	0	4.1	A		
	元		12	20	4	0	0	4.1	A		
2	10	14	10	2	0	3.6	B				
いじめ行為の未然防止、早期発見への取り組み	「生活アンケート(いじめ行為含)」を毎学期実施するなど、いじめ行為の未然防止、早期発見に努めている。	28									
		29	24	10	0	0	0	4.7	A		
		30	21	14	1	1	0	4.4	A		
		元	24	12	0	0	0	4.7	A		
2	21	15	0	0	0	4.6	A				
進路指導	進路指導体制の充実	進路指導に関する年間計画を作成し、組織的に指導する。	28	17	12	4	2	0	4.1	A	
			29	14	13	6	1	0	4.0	B	
			30	9	22	5	1	0	3.9	B	
	元	9	22	5	0	0	4.0	B			
	2	16	18	2	0	0	4.3	A			
	職業観・勤労観の育成と進路意識の育成	外部講師による進路講演会を各学年で年1回開催し、生徒の職業観を高める。	28	19	14	2	0	0	4.4	A	
29			16	15	3	0	0	4.3	A		
30			18	18	1	0	0	4.4	A		
元	11	22	3	0	0	4.1	A				
2	11	23	1	1	0	4.2	A				
教職員の資質向上	実践的指導力の向上	いつでも公開授業ができる体制を整える。各学期に1回以上研究授業を行う。	28	8	15	11	1	0	3.5	B	
			29	8	20	6	0	0	3.9	B	
			30	17	14	5	1	0	4.1	A	
			元	9	19	7	1	0	3.8	B	
	2	10	20	5	1	0	3.9	B			
	計画性をもった研修の実施	進路・教務・保健・生徒指導等の諸課題に関する研修を計画的に立案する。	28	12	14	8	0	0	3.9	B	
			29	9	19	5	1	0	3.9	B	
			30	9	22	5	1	0	3.9	B	
			元	5	22	7	2	0	3.6	B	
	2	5	28	2	1	0	3.9	B			
	情報教育の推進	ICT教育(パソコンやタブレット端末、ネットなど情報通信技術を活用した教育)の特性を活かし、タブレットを用いる授業や遠隔授業の研修、またそれらの準備・実践など計画的に行う。	28								
			29								
30											
元											
2	13	18	5	0	0	4.1	A				

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク
					◎	○	△	×	無回答		
学校運営	危機管理体制の整備	生徒に対する安全教育の充実	学校マニュアルに基づいて、不審者の侵入などの危機的事態への注意を喚起し、連絡の徹底を図る。	28	5	13	12	5	0	3.0	B
				29	3	13	14	4	0	2.9	C
				30	6	17	12	2	0	3.4	B
	元	6	24	5	1	0	3.8	B			
	2	7	21	6	1	1	3.8	B			
	28	8	17	8	1	0	3.7	B			
	29	9	18	6	1	0	3.8	B			
	30	8	20	8	1	0	3.7	B			
	元	7	23	3	3	0	3.8	B			
	2	9	22	5	0	0	4.0	B			
	28	/									
	29										
30											
元											
2	14	17	4	0	1	4.2	A				
学校運営全般	学年・学級経営	学校教育目標達成に向けた学年・学級の具体的経営方針を立て、その実施に努力する。	28	13	17	3	2	0	4.0	A	
			29	14	13	4	3	0	3.9	B	
			30	8	21	7	1	0	3.8	B	
	元	8	22	4	1	1	3.9	B			
	2	10	23	3	0	0	4.1	A			
	校務分掌	年度当初に、それぞれの分掌における重点目標を設定し、適宜取り組みについて評価・見直しをおこなう。	28	7	22	5	1	0	3.8	B	
29			12	11	9	2	0	3.6	B		
30			11	16	8	2	0	3.7	B		
元	7	20	7	1	1	3.7	B				
2	11	19	5	1	0	3.9	B				
PTA活動	PTAとの連携	授業参観や、人権教育研修・保健講話などにおける研修会への参加により、学校を開き、生徒理解を深める。	28	7	24	4	0	0	4.0	B	
			29	6	21	4	3	0	3.7	B	
			30	11	19	5	2	0	3.9	B	
			元	6	22	8	0	0	3.7	B	
			2	7	18	11	0	0	3.6	B	
教育課程	自らから学び考える力の育成	生涯学習の視点に立った実践能力の育成	多様な選択科目や体験活動等を設定し、生徒の関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	28	9	16	8	2	0	3.6	B
				29	6	18	8	2	0	3.5	B
				30	10	14	12	1	0	3.5	B
				元	5	21	7	1	2	3.6	B
				2	9	21	6	0	0	3.9	B
	基礎・基本の定着	生徒の学力の把握と評価基準の設定	基礎学力テストを年5回以上実施し、生徒の学力を把握して、指導方法を工夫する。	28	17	12	5	1	0	4.1	A
				29	11	15	6	2	0	3.8	B
		30	11	23	3	0	0	4.1	A		
		元	12	18	5	1	0	4.0	B		
	2	12	21	3	0	0	4.2	A			
	学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	校外研修会等に積極的に参加し、魅力的な授業づくりの工夫をする。	28	9	12	10	4	0	3.3	B	
			29	6	14	12	2	0	3.3	B	
30	4	19	10	4	0	3.2	B				
元	8	13	9	6	0	3.2	B				
2	4	13	13	6	0	2.9	C				
個に応じた指導の徹底	評価方法の創意工夫	評価方法について、教科間の意見交換や教科内の研修会を各学期に1回以上実施して、多角的な評価方法を工夫する。	28	5	20	8	2	0	3.5	B	
			29	7	15	9	3	0	3.4	B	
			30	8	20	7	1	1	3.8	B	
	元	8	16	9	3	0	3.5	B			
	2	8	18	8	2	0	3.6	B			
	指導形態の工夫	生徒の実態を把握して、個に応じた指導をおこなう。	28	14	16	4	1	0	4.1	A	
29			12	18	2	2	0	4.1	A		
30			11	23	3	0	0	4.1	A		
元	15	18	2	1	0	4.2	A				
2	16	18	2	0	0	4.3	A				
自主的・実践的な活動の活性化	部活動の活性化や、生徒会活動の積極的な運営を進める。	28	13	18	4	0	0	4.1	A		
		29	9	22	3	0	0	4.1	A		
		30	15	18	4	0	0	4.2	A		
	元	5	25	5	1	0	3.8	B			
	2	10	12	14	0	0	3.5	B			
	特別活動(学校行事等)	学校行事の精選と行事内容の充実	学校行事検討委員会を開催し、行事の精選や行事内容の充実を図る。	28	8	18	8	1	0	3.7	B
29				6	17	7	4	0	3.4	B	
30				19	13	4	1	0	4.2	A	
元		9	24	2	1	0	4.1	A			
2		11	19	3	2	1	4.0	B			
ボランティア活動	各種ボランティア活動への積極的参加を促し、全生徒が1回以上参加する。	28	6	15	8	6	0	3.2	B		
		29	5	12	10	7	0	2.9	C		
		30	6	17	8	6	0	3.2	B		
元	8	15	10	3	0	3.4	B				
2	0	12	15	9	0	2.4	D				

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評点	ランク	
					◎	○	△	×	無回答			
教育課程	芸術文化活動	文化的行事	文化祭（神工祭）で、専門科の実習内容や文化部の発表の場を設ける。	28	13	17	4	1	0	4.1	A	
				29	12	15	6	1	0	3.9	B	
				30	16	19	2	0	0	4.3	A	
				元	16	17	2	0	1	4.3	A	
				2	0	5	9	22	0	1.7	E	
	各科の個性化	(機械科) 機械技術の基礎基本の定着	資格検定試験を受験させ、学習意欲の喚起を図る。	物づくりを中心とした課題に生徒の意欲関心を持たせる。	28	11	0	1	0	0	4.8	A
					29	6	6	0	0	0	4.5	A
					30	19	13	4	0	1	4.3	A
					元	11	17	5	0	3	4.0	A
					2	10	13	2	1	10	4.1	A
		総合的な技術を習得させて、応用と創造の能力を育成する。	28	7	5	0	0	0	4.6	A		
			29	5	7	0	0	0	4.4	A		
			30	15	17	4	0	1	4.2	A		
			元	11	19	2	0	4	4.2	A		
			2	10	13	2	1	10	4.1	A		
		資格検定試験を受験させ、学習意欲の喚起を図る。	28	7	5	0	0	0	4.6	A		
			29	4	7	1	0	0	4.2	A		
			30	9	23	4	0	1	4.0	A		
			元	7	21	3	0	5	4.0	A		
			2	10	11	3	2	10	3.9	B		
(電気科) 工業の情報化・高度化に対応した情報技術の充実	工業基礎・電気実習・電気基礎・情報技術基礎など、科目の指導内容の精選をおこなう。	意欲的に課題解決を行うように工夫をし、達成後、さらに次のステップへの意欲を持たせる。（第2種電気工事士受験等）	28	3	2	1	0	0	4.2	A		
			29	2	5	0	0	0	4.3	A		
			30	16	13	1	0	7	4.5	A		
			元	16	15	1	0	4	4.4	A		
			2	8	11	1	3	13	3.9	B		
工業基礎・電気実習・電気基礎・情報技術基礎など、科目の指導内容の精選をおこなう。	28	1	5	0	0	0	4.2	A				
	29	1	5	1	0	0	3.9	B				
	30	7	19	4	0	7	4.0	B				
	元	6	24	1	0	5	4.1	A				
	2	7	13	1	3	12	3.8	B				
課題	防災・安全教育	教員の防災教育に係わる指導力・実践力の向上	「生徒の命を守る」という教職員の意識と技術を高める。防災訓練を年2回行う。	28	15	16	3	0	0	4.3	A	
				29	14	19	1	0	0	4.4	A	
				30	24	12	1	0	0	4.6	A	
				元	19	15	1	0	1	4.5	A	
				2	11	19	5	1	0	3.9	B	
	人権教育	確かな人権意識の育成	人権教育HRや生活体験発表会において、生徒の身近な問題から相互に尊重し合う態度を育てる。	28	9	18	6	2	0	3.7	B	
				29	9	18	7	0	0	3.9	B	
				30	12	20	4	1	0	4.0	A	
				元	7	23	6	0	0	3.9	B	
				2	6	24	3	3	0	3.8	B	
	情報教育	情報モラルの育成	情報発信に伴う責任など、情報モラルを育成する。また、プライバシー保護や著作権尊重の重要性を考えさせる。	28	6	13	13	3	0	3.2	B	
				29	8	19	6	1	0	3.8	B	
				30	11	12	12	2	0	3.5	B	
				元	6	22	6	2	0	3.7	B	
				2	7	24	4	1	0	3.9	B	
	環境教育・福祉教育	環境・福祉体験活動等の推進	生徒の身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造するための実践力を育てる。	28	5	14	13	3	0	3.1	B	
				29	4	19	9	2	0	3.4	B	
				30	6	15	13	3	0	3.2	B	
				元	6	16	11	2	1	3.4	B	
				2	5	20	9	2	0	3.5	B	
交通安全教育	実践的な安全教育への取り組み	登下校・自転車指導を年2回以上実施し、自他の生命を尊重する意識を高める。	28	17	16	2	0	0	4.4	A		
			29	10	17	7	0	0	3.9	B		
			30	21	12	4	0	0	4.4	A		
			元	13	20	3	0	0	4.2	A		
			2	12	18	5	0	1	4.1	A		